

第2回 DTM 講座

～コードについて～

6/18 (土)

1. コードとはなにか？

コードとは和訳すると「chord=暗号」ですが、音楽の世界では違った音を2つ以上同時に響かせること、つまり和音の事を意味します。「コードは難しい」といったような印象を持たれがちですが、大丈夫です！コードは音符と音符の間を共通の規則性に従って音を重ねているので、ルールさえ覚えてしまえば簡単に読めるようになります。

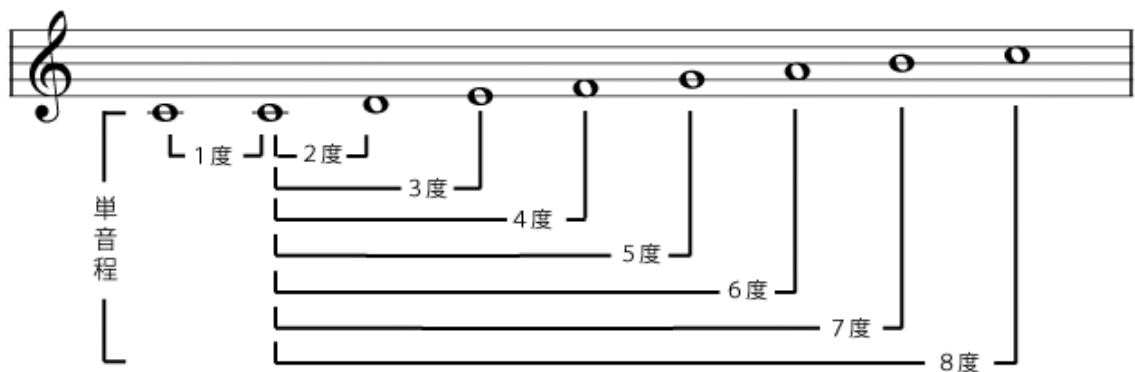
さて、今日から皆さんも“コードがわかる人”の仲間入りです。皆さんの音楽人生が変わるチャンスですので、しっかり覚えていきましょう！

2. コードの役割について

コードの役割とはなんでしょうか？ズバリ土台です。私たちが実際に作曲・編曲を進めていく上で意識しなければいけない事が3つあります。その3つとはメロディ(音階)・ハーモニー(コード)・リズムの事を指すのですが、これらは音楽の三大要素と言われています。コードは三要素の1つを占めるため、土台に等しい役割を担う事になるのです。このことはぜひ覚えておいて下さい。

3. 音程 (インターバル)

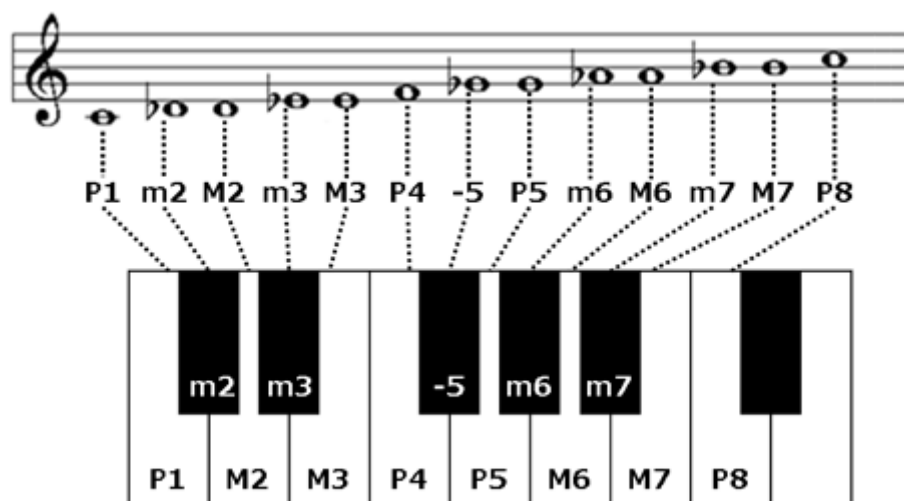
ではここで、コードとして音を積み立てた際にその関係はどうなっているのでしょうか？下記は、音と音との間隔を示したものです。これを音程 (インターバル) と言いますが、音程は度数で表します。「度」という単位を使って「1度、2度、3度」と数えます。そして、同じ音同士の間隔を1度をユニゾン、「ド」から始まって8度上の「ド」の音までをオクターブと呼びます。



次に、それぞれの度数をもっと詳しく見ていきましょう。

種類	英語	記号	音程
完全音程	Perfect interval	P	1、4、5、8度に対して使う
長音程	Major interval	M	2、3、6、7度に対して使う
短音程	Minor interval	m	2、3、6、7度に対して半音下げた音
増音程	Augment interval	aug、+	P、またはMを半音上げた音
減音程	Diminish interval	dim、-	P、またはmを半音下げた音

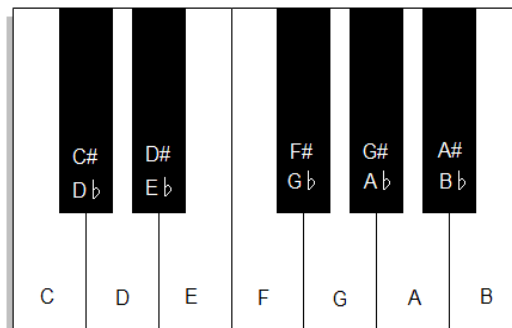
そして、音程を五線譜や鍵盤で表すと…



いかかでしたか？音と音との関係性が見えてきたでしょうか？一気に全部覚える必要はありません。ただ長・短、完全音程は、この後学ぶコードの仕組みととても密接に関わり合っています。ゆっくりで大丈夫ですので、ぜひこの機会にマスターしてみてください！

4. ドレミの別名

私たちが普段使用している「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ…」の音名はイタリア語です。ですが、コードの世界になるとアルファベットを用いて「C・D・E・F・G・A・B…」と表記します。



5. 構成音について

いよいよ本題に入りましょう。音と音を積み重ねてコードを作ってみます。



例) C

「ド」…コードの基礎になる音=**Root** (ルート)

「ミ」…ルートから数えて3番目の音=**3rd** (サード)

「ソ」…ルートから数えて5番目の音=**5th** (フィフス)

まずは「C」の音を基準に、3度ずつ積み重ねたコードです。この「C・E・G」の各音は、コードを形成するために積み重ねられた音なので、**構成音**と呼びます。それぞれルートから数えて何番目の音なのか、上記のような呼び名があります。そして5th以降の、7番目の構成音を**7th** (セブンス)、9番目の構成音を**9th** (ナインス) …と呼びます。

6. メジャーとマイナーについて

では、まず以下の2つのコードを弾いてみましょう。

[C(シー)]

[Cm(シー・マイナー)]



それぞれの響きの違いに気がつきましたか？左側の【C】のコードは**明るい**、それに比べて右側の【Cm】のコードは**暗い**響きに聞こえませんか？これらのコードは大まかに**メジャー・コード** (明るい和音) と**マイナー・コード** (暗い和音) に分けることができます。実はこのような響きの違いは**3rd** が最も影響を与えているのです。

7. コード・ネームのしくみについて

では、何パターンもあるコードはどう区別するのでしょうか？何か呼び名が無いと、とても使いづらいですね。そこで、コード1つ1つにコード・ネームがつけられています。コード・ネームは以下の順に表記し、1つのコードを表しています。

- 1度…コードの基になる音
- 3度…M3(長3度)とm3(短3度)の2種類、但しM3は省略される
- 7度…M7(長7度)とm7(短7度)の2種類、M6(長6度)を入れることも
- 5度…P5(完全5度)、+5(増5度)、-5(減5度)の3種類、但しP5は省略される
- テンション…9th以上の構成音



これらの事をもっとわかりやすく以下の表にまとめてみました。

構成音の音程		記号
3度	M3 (長3度)	省略
	m3 (短3度)	m, _ (アンダーバー)
5度	P5 (完全5度)	省略
	b5 (減5度)	- (マイナス), -5, b5
	#5 (増5度)	aug, #5, +, +5
6度	M6 (長6度)	6
7度	M7 (長7度)	Maj7, M7, Δ7
	m7 (短7度)	7

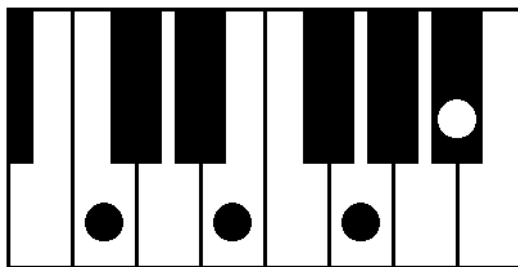
8. コードの種類について

ここでは、【C】のコードを例に、いろいろなコードの種類を見ていきましょう。鍵盤で弾きながら、耳でその響きを聴いてみてください。

■ セブンス・コード

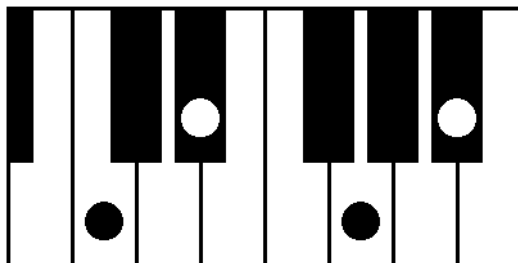
C7

メジャー・コード+短3度上の音を加えたコード。とても不安定な響きですね。早く次の安定した響きに落ち着きたいコードです。



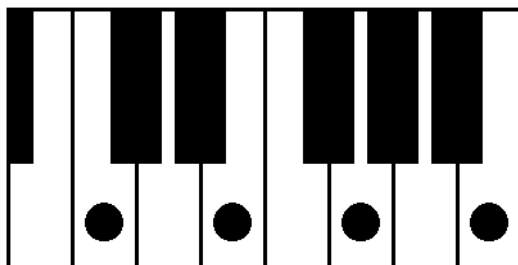
Cm7

マイナー・コード+短3度上の音を加えたコード。暗い響きですが、【C7】よりは広がりのある感じのコードでしょうか。



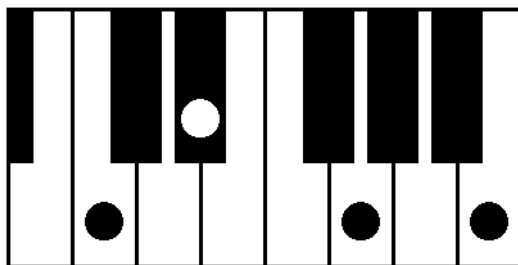
Cmaj7 / CM7 / CΔ7

メジャー・コード+長3度上の音を加えたコード。オシャレできれいな響きですね。



Cmmaj7 / CmM7 / CmΔ7

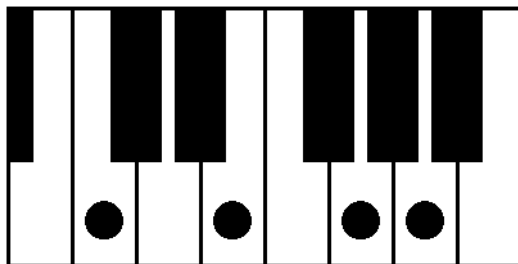
マイナー・コード+長3度上の音を加えたコード。ミステリアスな響きですね



■ シックス・コード

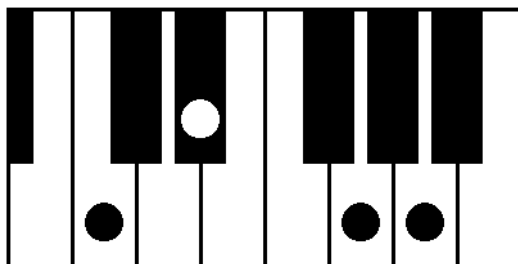
C6

メジャー・コード+長2度上の音を加えたコード。明るくもあり、暗くもあり、どちらともとれる響きですね。



Cm6

マイナー・コード+長2度上の音を加えたコード。暗く不安定な響きです。

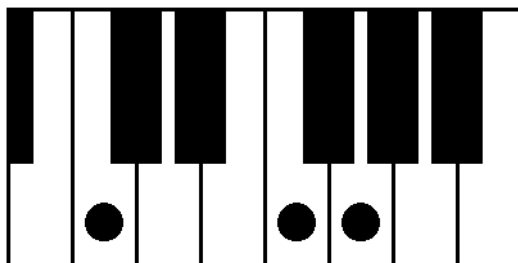


※シックス・コードは、短2度上の音つまり、**m6th**を加えたコードは存在しません。基本三和音がメジャーか、マイナーかの違いのみで、そこへ長2度上の音(6th)を加えるのみのコードです。

■ サス・フォー・コード

Csus4

とても不安定な響きなので、実際の楽曲の中では、メジャー・コードの前に用いられ、不安定な響きから安定した響きへ解決する流れを持っています

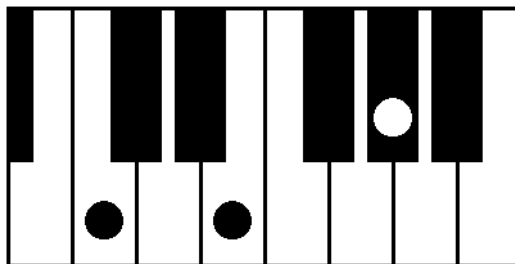


※正しくは「サスペンデッド・フォース」(suspended 4th)、略して「サス・フォー (sus4)」です。これは“吊り上げられた4度”という意味でメジャー・コードの**3rd**が、半音上に吊り上げられたコードです。

■ オーギュメント・コード

Caug / C#5 / C+5

明るいです、少し不思議でふわふわしていて、ややこっけいな響きですね。

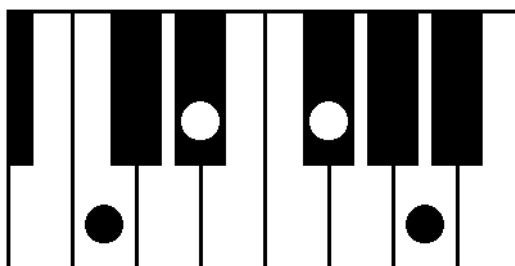


※「augmented=増大」という意味ですが、コードの世界では「augmented 5th」のことを指し、**増5度**の音程を表しています。つまり、メジャー・コードの**5th**を、半音上にした**#5th**のコードです。コード・ネームは「ルート音+aug」と略記します。

■ デイミニッシュ・コード

Cdim

TVのサスペンスドラマから聴こえてきそうな響きですね。ここでは簡単に“**ルート音から短3度ずつ、構成音を3つ積み重ねる**”と覚えましょう。

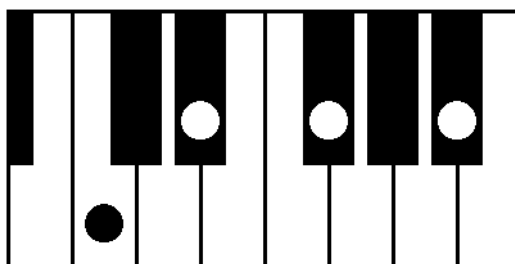


※このコードの構成音は、ルート音から短3度ずつ積み重ねていくと、4番目の構成音はルート音、つまり【C】になりますね。このことからdimのコードは、コード・ネームが違って構成音が同じ、という事が成り立ちます。例えば、【Cdim】【Adim】は同じ構成音になります。

■ マイナー・セブンス・フラット・ファイブ・コード

Cm7(b5) / Cm7(-5)

少し暗くて不安定ですがゴージャス感がある響きですね。(b5)や(-5)が出てきた時は、とにかく“**5thを半音下げる**”と覚えましょう。

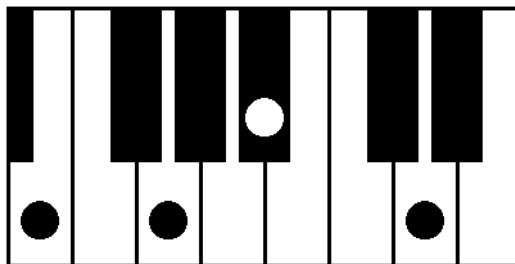


※構成音が【dim】に近いので、「ハーフ・デイミニッシュ」と呼ばれる事もあります。

■ テンション・コード

C7(9) / C9

明るい響きで、とてもオシャレなコードですね。セブンス【7】+長3度上の音を加えたコードです。実際の楽曲の中ではルート音を省いて弾く事があります。

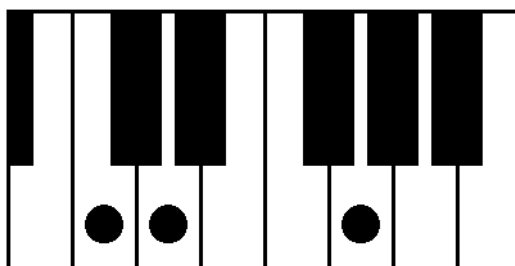


※テンションは 9th、11th、13th の 3 種類があります。さらに細かく分けると ♭9th、9th、#9th、11th、#11th、♭13th、13th になります。これらの音程を総称してテンション・ノートといいますので覚えておきましょう。

■ アド・コード

Cadd9

シンプルで、オシャレなコードですね。「add=加える」という意味で、基本三和音のメジャー・コード+ 9th を加えたコードです。9th は 1 オクターブ下げた 2 度として弾く事があります。



※この場合ですと 3rd を省略して弾いていますが、こちらの方がスッキリしているため、演奏する際に好まれています。定番の弾き方の 1 つとして覚えておきましょう。